

主な内容
本市の子育て支援への取り組み……………2
LIVE・来舞・らいふ・2009出場者を募集……………3
防災アセスメント調査結果と総合防災訓練の実施(防災特集)……………4-5
情報ページ 新型インフルエンザについて、急病診療案内、相談案内など……………6-7
この街あの人この人 平哲也さん……………8



8/2(日)市民まつり・14(金)花火大会

前略 市民の皆さまへ
「いちほら市民まつり」と「高滝ダム市民花火大会」が今年も開催されます。
市民まつりのメインイベントは市役所通りでの練り踊り。3,000人の踊り手が色鮮やかな衣装で踊る様子は必見です。もちろん、当日の飛び入りも大歓迎！
花火大会では、約2,500発の花火が高滝湖畔の夜空を彩ります。
では、飛び切りの夏の夜を会場で。

熱気あふれる練り踊り(市民まつり)

鮮やかに開花(花火大会)

草々

* いちはら市民まつり

日時 8月2日(日)午後6時20分～9時25分《交通規制(右図参照)=午後6～10時》※小雨決行
会場 市役所通り、市民広場ほか

イベント盛りだくさん

時間	午後5時	6	7	8	9	10
イベント	4:45～5:45 フラダンス【会場=市民広場】	6:20～9:20 ぞうさんコーナー【会場=市民会館前広場】	6:20～6:25 開会(ふるさと一番太鼓)	6:25～6:30 『よさこい(飛騨 2009『和』)』	6:30～6:45 組み太鼓《響け市原の大地》	6:45～6:55 ハーレー隊パレード
					6:55～7:05 チアパフォーマンス	7:05～9:20 練り踊り
						9:25 閉会

※このほか『民謡 盆唄 大集合』(8月1日(土)午前11時～午後4時・市民会館)を開催

うまいものもいっぱい

『地産地消横丁』では市原産の食材を使った食べ物を販売。そのほか市内飲食店が結成した『いちほらうまいもの会』のブースもあります。



無料シャトルバスが便利

同バス運行案内は右囲み参照

問合せ Web 商業観光課 ☎ 9755、※当日の電話案内(午後3時から) まつり本部 ☎ 0082



無料シャトルバス運行案内

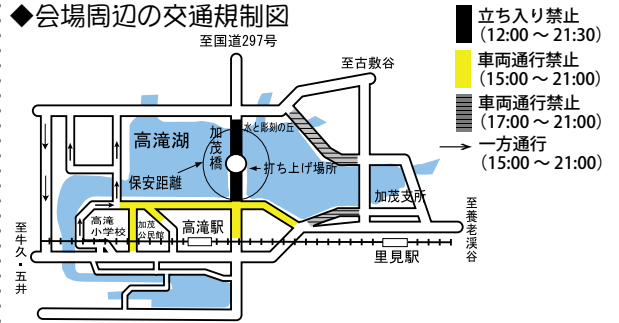
五井駅東口⇄保健センター(※)⇄会場
運行時間=午後4時～10時(10分間隔、会場発は午後4時15分から10時15分まで運行) ※保健センターには午後5時30分以後停車
市総合防災センター⇄会場
運行時間=午後6時～10時(15分間隔、会場発は午後6時15分から10時15分まで運行)

* 高滝ダム市民花火大会

日時 8月14日(金)午後7時～8時40分(荒天のときは17日(月)に延期)
会場 高滝湖畔(加茂橋付近)

内容 8号玉・スターメインなど約2,500発 夜空に咲く大輪

当日の注意事項 (1)水と彫刻の丘の開館は午後4時まで(入館は午後3時30分まで)です。(2)交通規制を行います(下図参照)。公共交通機関をご利用ください(時刻表は下表参照)。



小湊鉄道列車臨時時刻表

【高滝駅行き】		【高滝駅発】	
五井駅発(所要時間約41分)	養老渓谷駅発(所要時間約35分)	五井駅行き	上総中野駅行き
14:40 16:39	15:45(※1)	20:52	19:47(※2)
15:19 17:30	17:10(※1)	21:24	※2=里見駅でバスに乗り換え
16:00 18:00	18:30(※1)	上総牛久駅行き	
		22:03	

問合せ (社)市観光協会 ☎ 8355、Web 商業観光課 ☎ 9755、※当日の自動音声案内 ☎ 0180 3636

今月の日曜開設日など

今月の市民課窓口の日曜開設日
2日、16日(8:30～17:00)
今月の納付
市県民税(2期)と国民健康保険料(3期)の納期です。
市原市の人口(平成21年7月1日現在)
※()内前月比
人口:279,988人(-71人)
男:144,342人(-32人)
女:135,646人(-39人)
世帯数:114,648世帯(+71世帯)
転入:644人/6月 転出:695人/6月
出生:169人/6月 死亡:189人/6月
面積:368.20km²



若者と一緒に(市民まつり)
市長 佐久間 隆義
ご協力をお願いします。

地域で守ろう 夏休みの子どもたち
いよいよ夏本番です。夏休みは子どもたちがさまざまな経験をし、豊かな知恵を身に付ける最も良い機会ですが、気が緩み、事故などが起こりやすい時期でもあります。
最近、深夜の公園などに若者がたむろするのを防ぐための『モスキート(蚊)音』を流す装置が話題を呼びました。この装置を設置することによって、その場所からは遠ざかるとしても、若者は恐らくまた違う場所を求めるとはいえないでしょうか。
子どもたちや若者が集まり、集団生活の中でお互いを通じて多くのことを体得し成長していくことは、動物の世界では自然なことです。それを非行に結び付かせないためには、被害防止を目的とした声掛け、危険な場所の点検など、地域住民のかたがたの力が何よりも必要です。市民一人ひとりの行動力と地域の団結力は、より良いまちへと変えていく大きな力となります。『市原の子どもは市原で育てる』の強い信念の下、皆さまのご協力をお願いします。



(64)